

シンポジウム

やらかなあかんの？自然再生

自然再生や自然保護は誰のためか。それらの名を借りて、実際には環境を食いものにしているか……。私たちが取り組むべき地域自然の再生や保全とは、どうあるべきなのか。そして実現のためにはどのような方法論、技術が必要だろうか。

最近の自然再生や環境保全一般に対する世間の関心の高まりは、メディアやCSR活動での扱われ方にも現れている。身のまわりの環境をより良くすることや、自然環境を良い状態に保つことは、本質的には正しいだろう。しかし、具体的でわかりやすい行動指針があるかといえば、そうではない。

自然再生が論じられ、あるいは事業として実施されるときに、総論があるのみで、現実に適用可能な各論がない。あるいは各論はあっても、単純な事例のみを全体のテキストとして強引に拡大適用しようというケースも目立つ。それが数々の問題を生んできたのではないか。そこには間違った権威や誤った報道も寄与しているかもしれない。社会的ニーズに、実は見合っていない困った現実、といえるだろう。

「論あって、自然は枯れる」わが国の状況について、私たちと一緒に振り返り、これからとるべき道を模索しませんか。

2009年7月26日(日) 13:00-16:30

京大会館 101号会議室 (京都市左京区吉田河原町 15-9)

※地図は裏面に

参加費無料 (事前申込み不要)

基調講演 「私が犯した苗木植栽の失敗集」

高田研一 (森林再生支援センター)

円卓会議

話題提供 「天然記念物を守ること～アユモドキ保全の現場から～」

大西信弘 (京都学園大学 バイオ環境学部)

話題提供 「自然再生とメディアの役割 (仮)」 稲庭 篤 (京都新聞社 社会報道部)

話題提供 「農業・農村から見た『自然ということ』」

橋本 昭 (農業生産法人 (有) アグロス胡麻郷)

今村彰生 (京都学園大学 バイオ環境学部 / 森林再生支援センター)

高田研一、その他

<司会進行> 下村泰史 (京都造形芸術大学 / 森林再生支援センター)



主催・問い合わせ先: 特定非営利活動法人 森林再生支援センター

E-mail: info@crrn.net TEL/FAX: 075-432-0026 URL: http://www.crrn.net